

舞台手話通訳者養成講座⑤札幌

4人の講師が、舞台手話通訳や演劇について基礎からしっかり指導。
実践編として子どもたちが大好きな人形劇の舞台手話通訳に挑戦します。
受講生には12月に実際に行われる人形劇の本公演の舞台に立つ機会も用意しています。

舞台手話
通訳講座

基礎編 1・2

10/21
(土)

10:00
17:00

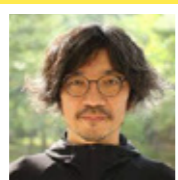
基礎編
01

演劇の基本を学ぼう

舞台に立って役者のセリフ等を手話で伝える舞台手話通訳者には、身体を使った表現力が求められます。また、役者と舞台を移動しながら手話を行うなど、さまざまなスタイルの舞台手話通訳に対応していくために、まずはワークショップをとおして演劇の基本、演技の基本を学びます。

【講義会場】
市民活動プラザ星園 中会議室

【基礎編①】
講師
清水友陽
しみずともあき



演出家・劇作家。
札幌で活動する劇団清水企画代表。
2012年より、札幌座のディレクターに就任。
創作活動以外にも、子どもたちを対象にした表現ワークショップや、大学で表現の授業の非常勤講師を務める。
北海道演劇財団常務理事・芸術監督。

10/22
(日)

10:00
17:00

基礎編
02

舞台手話通訳の基本を学ぼう

舞台が好き!手話が好き!なアナタは、もう舞台手話通訳者としての準備万端です!
2日目は「舞台手話通訳とは?」「通常の手話通訳とどう違う?」「舞台手話通訳者として大切な基礎テクニック・心構え・姿勢とは?」「準備～本番までどんなことをしているの?」など、舞台手話通訳者としての基本を学びます。

【講義会場】
市民活動プラザ星園 特別会議室

【基礎編②】
講師
田中 結夏
たなか ゆか



舞台手話通訳者/手話通訳士/俳優/保育士/ワークショップデザイナー
埼玉県立芸術総合高等学校舞台芸術科卒業。青山学院女子短期大学子ども学科卒業。青山学院大学「ワークショップデザイナー育成プログラム」修了。公益財団法人文京アカデミー主催「舞台手話通訳養成講座」修了。NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 舞台手話通訳チーム所属。舞台手話通訳の実績は、TA-net 舞台手話通訳、字幕、音声ガイドつき演劇「メゾン」(2023年1月)、「ディズニー・オン・アイス 100Years of Wonder」(2023年7月)など多数。2023年、これまでの経験を活かし「舞台×子ども×手話」という3本柱をかけた個人事業「となりのきのこ」を立ち上げ、活動を展開中。

舞台手話通訳とは?

舞台作品の進行に合わせて、役者のセリフや効果音などを舞台上から手話で客席に届けること。
海外では一般的なサポートとして日常的に取り組まれています。
また、通訳者が動かずに決められた場所で通訳をする「固定型」や、通訳者が演者と一緒に舞台上に立ち、演者のそばで演者の動きに合わせて通訳をする「ムーブアラウンド型」など、さまざまなスタイルがあります。

舞台手話
通訳講座

実践編 1・2

10/28
(土)

10:00
17:00

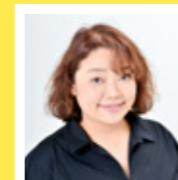
実践編
01

人形劇の舞台手話通訳に挑戦その①

いよいよ人形劇の舞台手話通訳に挑戦します。
実際に人形劇を見て、演出家の演出意図を探り、どのような手話表現が必要なのかを考え、実践につながる手話の翻訳力や表現力を磨いていきます。
舞台手話通訳監修者として豊富な経験を持つ河合祐三子さんがしっかりサポートします。

【講義会場】
市民活動プラザ星園 中会議室

【実践編①②】
講師
河合 祐三子
がわい ゆみこ



北海道札幌市出身。
地元の劇団『舞夢』を経て、1988年に社会福祉法人トット基金『日本ろう者劇団』に入団。現在フリーランスの俳優として様々な舞台などに出演。手話教師、ろう通訳者、ろう子どもの演劇ワークショップ、非言語ワークショップなど全国的に活動を広げている。2023年4月 メアリーとマリーの2人組ユニット「てことば・てかなで・てあそびDuo メリマリ」を結成。サインボエム、手話遊び、Dオンガク(ろうリズム)、V V(ビジュアルパーナキュラー)表現などを披露。特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)舞台手話通訳養成講座(2018年～2019年)指導。以後、数々の舞台手話通訳監修を務めている。

10/29
(日)

10:00
17:00

実践編
02

人形劇の舞台手話通訳に挑戦その②

シーンごとに細かい部分までをチェックし、手話の表現力をさらに深め、手話通訳スキルを高めていきます。後半は本番に近い形での発表会となります。
これまで学んできた成果を活かし、受講者同士はもちろん、人形劇スタッフや演出家らと協力しながら、ひとつの舞台をつくりあげていきます。

【講義会場】
市民活動プラザ星園 大会議室

【実践編①②】
人形劇 演出
矢吹 英孝
やぶき ひてか



1967年 福島県出身
さっぽろ人形浄瑠璃あしり座代表/人形劇団野良犬Plus代表/札幌市こどもの劇場やまびこ座、札幌市こども人形劇場こぐま座前館長/国際人形劇連盟日本センター・UNIMA JAPAN会員/(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
自身の劇団活動のほか、アーティストと協働し芸術性の高い人形劇作品をプロデュースし、国内外で公演を企画上演。継続性を持った人材育成の取り組みを模索し、子どもから大人まで、各年代に応じた活動の受け皿をつくることで、文化の担い手を輩出。札幌市及びその近郊の地域において、幅広い世代を対象に人形劇指導を行うなど後進の育成に取り組み、これまで演出・指導した人形劇作品は200本を超える。